



## 卒業・修了：社会への門出を祝して



青葉工業会会長  
(工学研究科長・工学部長)

金井 浩

工学士，工学修士，あるいは工学博士の学位を取得されましたお一人おひとりに，心からお祝いの言葉をお贈りいたします。さらに大学院に進まれる方にとっては，暫しの充電の期間が続きますが，社会に出られる方にとっては，慌ただしい中での新しい未知への旅立ちになります。皆さんの今後のご活躍を，工学部長・工学研究科長として，心よりお祈りいたします。

皆さんが仙台で学ばれた間には，東日本大震災が発生し，ご家族を含め関係者・知人に影響が及んだ方もいると思います。学内で被害の最も大きかった工学部・工学研究科も，その復旧に取り組む2年間であり，震災の後片付けや度重なる引っ越しを経験し，仮設研究室で卒業・修了を迎えられた方もいるでしょう。大震災がなければ必要なかった作業や負担をこなす中，学問にいそしみ，研究に邁進された皆さんに深く敬意を表します。

20世紀百年間の科学技術の著しい発展によって，現代の生活の質は，確かに向上し「物質的豊かさ」は得られましたが，これ以上，大量消費に依存したまま地球資源を使い続け，環境を悪化させることはできない，という「転換点」を迎えつつあります。今回の大震災はこの流れを加速し，今後，自然と人類社会を結ぶ「工学」の重要性がますます高まるでしょう。21世紀の，特に皆さんが定年まで働く今後30年間は，丁度，この混沌とした転換点の中から，「真に豊かな持続可能社会」を構築するための試行錯誤の期間になり，人類の長い歴史にとっても極めて重要な期間になると思います。工学の知識を活用可能な形で身に付けた皆さんは，グローバル化が急激に進む中，「国の礎」として，今後のこの過渡期を乗り越え，最適解を求め，明るい社会展望を示して欲しいと思います。

我が国で三番目に創設された東北帝国大学の卒業生を受け継ぐ本同窓会では，皆さんの入会を心から歓迎いたします。大学での限られた範囲の知人の輪から，5万人を超える同窓生仲間と新しい交流の機会をもち，幅広い人間として，今後「輝かしい人生」を過ごされることを，心から祈念し，皆さんの社会への門出に贈る言葉とさせていただきます。

